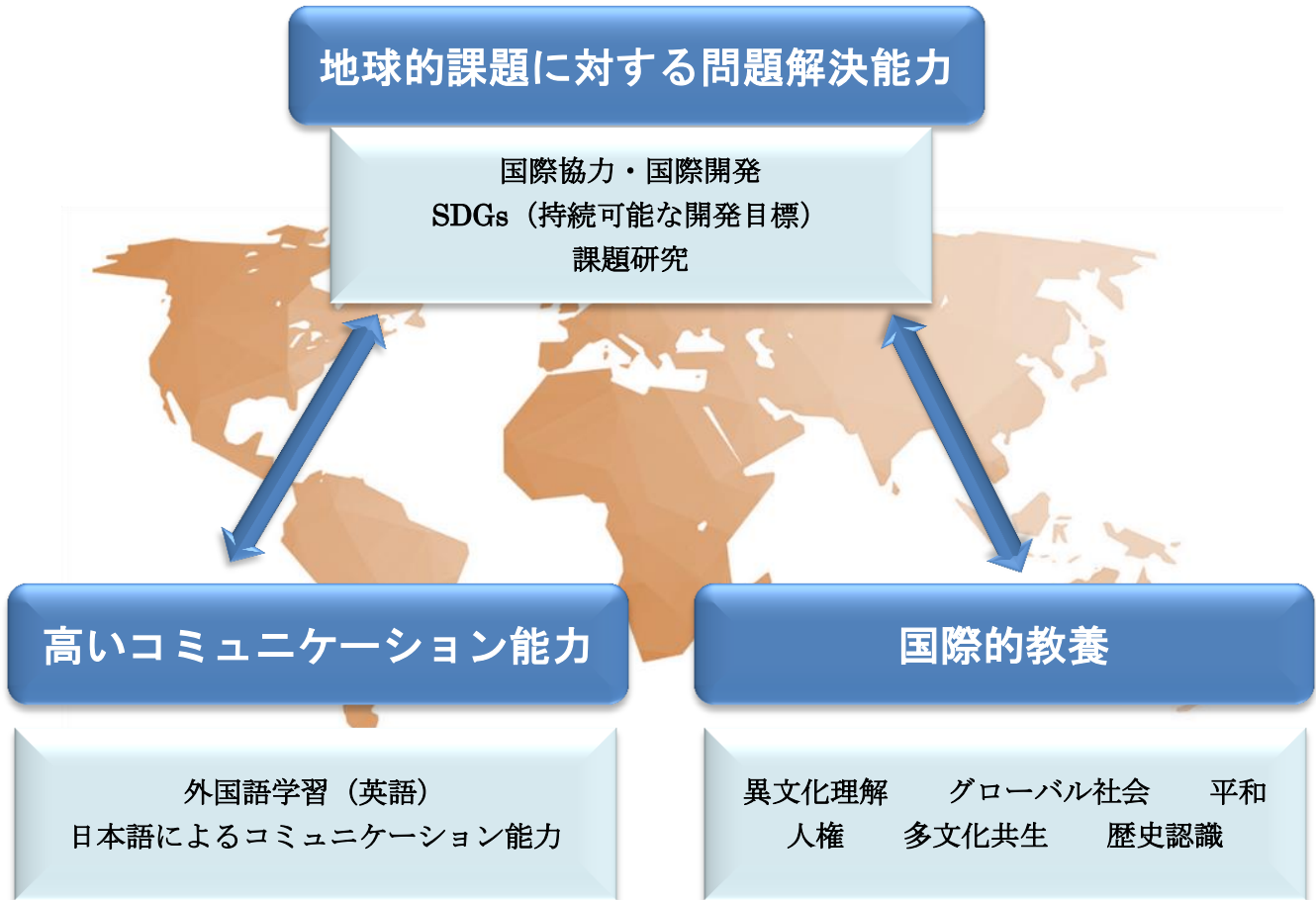


国際理解コース 独自の行事

本校の国際理解コースは、「高いコミュニケーション能力」、「国際的教養」、「地球的課題に対する問題解決能力」を育成することを目標にしています。これらの目標を達成するために、カリキュラムの中に特色ある行事が組み込まれています。以下に紹介する行事は、主として1年生が参加します。

国際理解コースの目標と学習領域 イメージ図



国際理解コース独自の行事

1. JICA 訪問

5月下旬に、なごや地球広場（JICA 中部）の訪問プログラムに参加します。目的は、国際開発・協力に関する教養を身に付けることです。

訪問プログラムの主な内容は、まず、JICA の事業概要を踏まえ、国際協力とは何かについて具体的な説明を聞きます。次に、館内の見学を通して、環境保護の工夫を学びます。その後は、体験ゾーンを探検します。ガイドの案内による展示物の見学を通して、世界にある課題を学びます。最後に、ベトナムにおける開発協力の体験談を聴くことによって、ベトナム研修の事前学習を行います。



2. ベトナム研修旅行

12月下旬に、5日間のベトナム研修旅行（ホーチミン市）を実施します。研修の目的は、国際理解に関する教養を身に付けるとともに、体験的かつ探究的な学習を通して、ベトナムの文化、歴史、経済、言語について理解を深めることです。研修後は、ベトナムで学習したことを踏まえ、地球的課題について意識を高め、主体的にその課題を解決しようとする態度と資質を育成することを目標としています。

近年のグローバル化社会において、ベトナムと日本は密接な関係にあります。日系企業のベトナム進出や日本へのベトナム人留学生の数は年々増加しています。ベトナムは日本と同じアジアの中で、文化や歴史においても大変魅力がある国です。

国際理解コース生徒は、ベトナム研修の中で、異文化理解、異文化交流、平和、人権、グローバル化社会、外国語学習などのテーマにおける様々な体験学習を通して、国際的な視野を広げることができます。



3. エンパワメントプログラム

春期休業中の3日間、ISAが主催するエンパワメントプログラム（国内短期留学）に参加します。目的は、欧米の一流大学に学ぶ大学生・大学院生との英語によるディスカッションを通して、異文化理解力と英語力の更なる必要性に気付かせ、日本人とは何か、自己とは何かを考えることを体験することにあります。

カリキュラムに関しては、ネイティブ（英語）のファシリテータが全体の進行を行います。また、生徒5～6名に留学生1名がグループリーダーとしてつき、テーマに沿ってディスカッションやプレゼンテーションをしながら、高度な英語発信能力、リーダーシップなどを養います。もちろん、プログラム中はすべて英語だけで活動に取り組みます。



4. 南山大学との連携事業

2学期に南山大学の先生による出前講義を実施します。南山大学の先生に本校まで来て頂き、講義とワークショップを行って頂きます。テーマは、SDGs についてです。SDGs とは、持続可能な開発目標という意味です。SDGs は 2030 年までの国際的な共通目標として 17 の目標が 2015 年に採択され、その目標に向けて世界で協力しているところです。出前講義は、SDGs をテーマにしながら国際理解の重要性を考えるきっかけになります。

アクティブラーニングを取り入れたワークショップでは、地球的課題について主体的に考え、お互いに意見を交換することで、SDGs に関する理解を更に深めることができます。



5. 小学校との連携事業

国際理解コースの生徒と近隣の小学校の児童と協同で英語を学習する企画があります。目的は、協同学習を通して、小学校児童が英語に対する学習動機を高めることにあります。

連携の内容については、年度によってやり方は異なります。参加する生徒や児童、担当する教員によってどのような形で実施するかについて、アイデアを出し合いながら企画を進めます。

主体的に同じ地域の児童と関わることで、自分たち自身が地域や社会の一員であるという意識を持って、地域の教育の発展に貢献していこうとする態度を身に付けることが期待されます。



国際理解コース独自の行事 年間スケジュール 【1年生】

4月	5月	6月	7月
	JICA 訪問		
8月	9月	10月	11月
小学校との連携	南山大学との連携		
12月	1月	2月	3月
ベトナム研修			エンパワーメント プログラム